

ももPeach

「手をつなごう、和田の郷」

編集・発行

和田地区まちづくり推進委員会

事務局：浜田市立和田公民館

〒697-0424

住所：浜田市旭町和田1284

電話：0855-45-1918

和田地区まちづくり推進委員会だより

E-mail : wada-k@ph-hamada.jp

HP : <http://wadachiku.com/> Facebook : <https://www.facebook.com/wadachiku>



行事予定 (変更になる場合があります)

－ 5月－

15日 ラブック号

27日 グラウンドゴルフ大会

－ 6月－

3日 旧和田小学校奉仕作業
(第1回目)

10日 鮎釣り解禁(八戸川)

10日 虫送り神事と田植え
囃子奉納(本郷)

12日 ラブック号

17日 あじさい祭(重富)

－ 7月－

上旬 体力テスト

(旧和田小学校体育館)

上旬 早生もも販売開始

(和田もも選果場)

10日 ラブック号

※ラブック号(移動図書)

毎月 13:40~14:20

和田公民館

※ 各地域・団体の方、広報したい行事があれば公民館までご連絡ください

旭中入学式



4月10日(火)に旭中学校で入学式が行われました。御入学おめでとうございます!今年、和田地区からの入学生は、阿瀬川獅友さんと岡本陽菜さんの2名です。中学生になられても、和田地区の子供として地域の活動や行事に参加して頂き元気な姿を地域の皆さんに見せて下さい!



行政懇談会 防災学習会

2月26日(日)に行政懇談会と防災学習会が行われました。

行政懇談会では、旭自治区長の岩谷欣吾さんより「浜田市の現在の状況について」、防災学習会では、防災自治課専門企画員の藤田國夫さんから“災害から身を守る・自己防衛”について講演を聞きました。両会とも参加された延べ約50名の方々は、質問をされて熱心に学習をされていました。



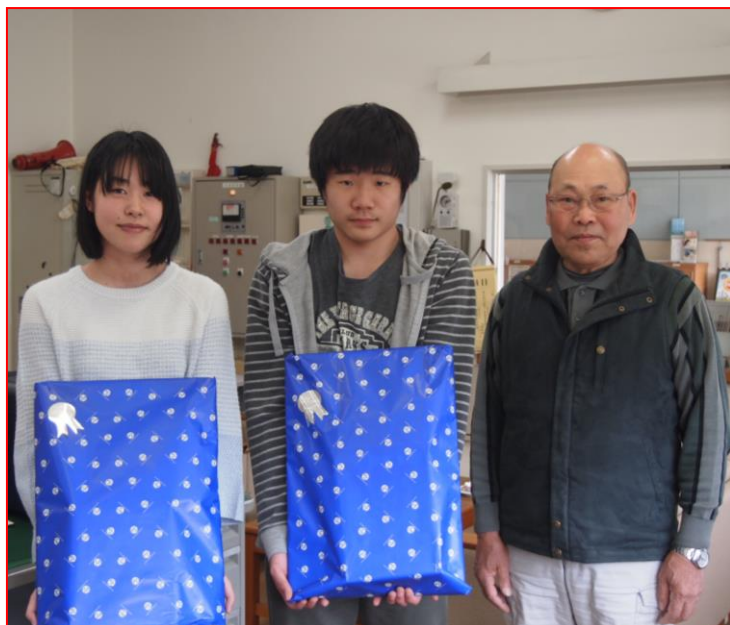
旭中学校卒業生



記念品贈呈



3月31日(土)に、今年、旭中学校を卒業された2名(齋藤拓未さん、長山明恵さん)に和田公民館から記念品を贈呈されました。これからは、高校での勉強や部活が忙しくなるかと思いますが、それぞれの将来の夢に向かって、ぜひ頑張ってください!応援しています!



和田地区住民の皆さんへ

みんなの和田暮らし支え合い事業

～アンケート調査結果について～

和田地区まちづくり推進委員会では、“みんなの和田暮らし支え合い事業”（5カ年計画）として地区住民がお互いに助け合い元気で安心して暮らせることを目指し、課題解決特別事業に申請し承認されました。そして、有償を含めた“支え合い活動の仕組みづくり”を検討する為に、まずは地域の実態を調査し、現状把握を目的としたアンケート調査を昨年度地区住民対象に行いました。皆さんからの多くの様々なお意見を頂き誠にありがとうございました。そのアンケート調査結果を今回まとめましたので、皆さんもこの和田地区の現状についてご覧いただければと存じます。また、このアンケート調査結果を活かして、事業活動を行ってまいります。今後も引き続き、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

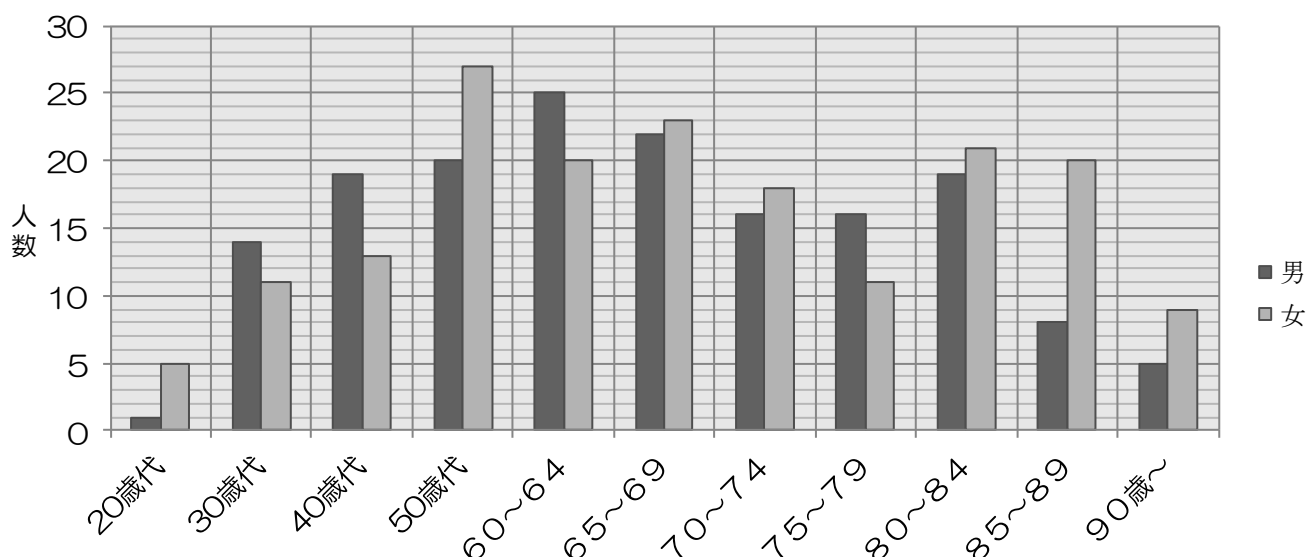
和田地区まちづくり推進委員会

1.年齢と2.性別について

(人)

年齢層	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳～	合計
男	1	14	19	20	25	22	16	16	19	8	5	165
女	5	11	13	27	20	23	18	11	21	20	9	178

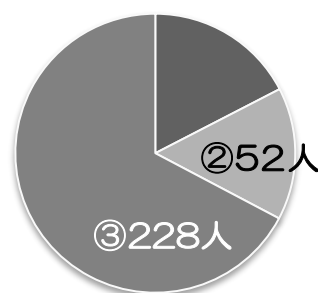
年齢層構成表



3.世帯構成について

- ①：ひとり暮らし（全年齢）：59人
- ②：高齢者世帯（世帯全員が65歳以上）：52人
- ③：①②以外の世帯：228人

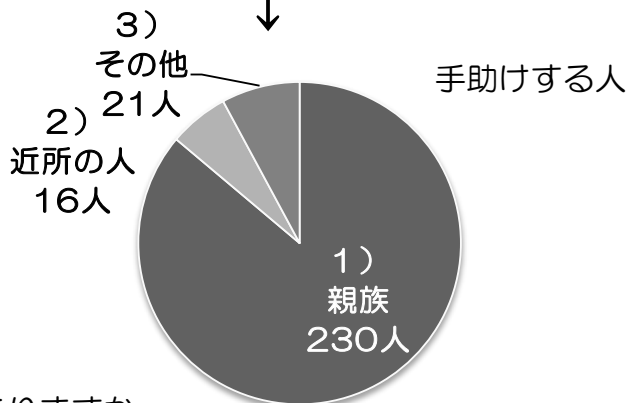
世帯構成⇒



4. 日常生活で、自分でできにくい家事などを手助けする人がいますか。

①: いる: 267人 ⇒ 1) 親族: 230人、2) 近所の人: 16人、3) その他: 21人

②: いない: 78人

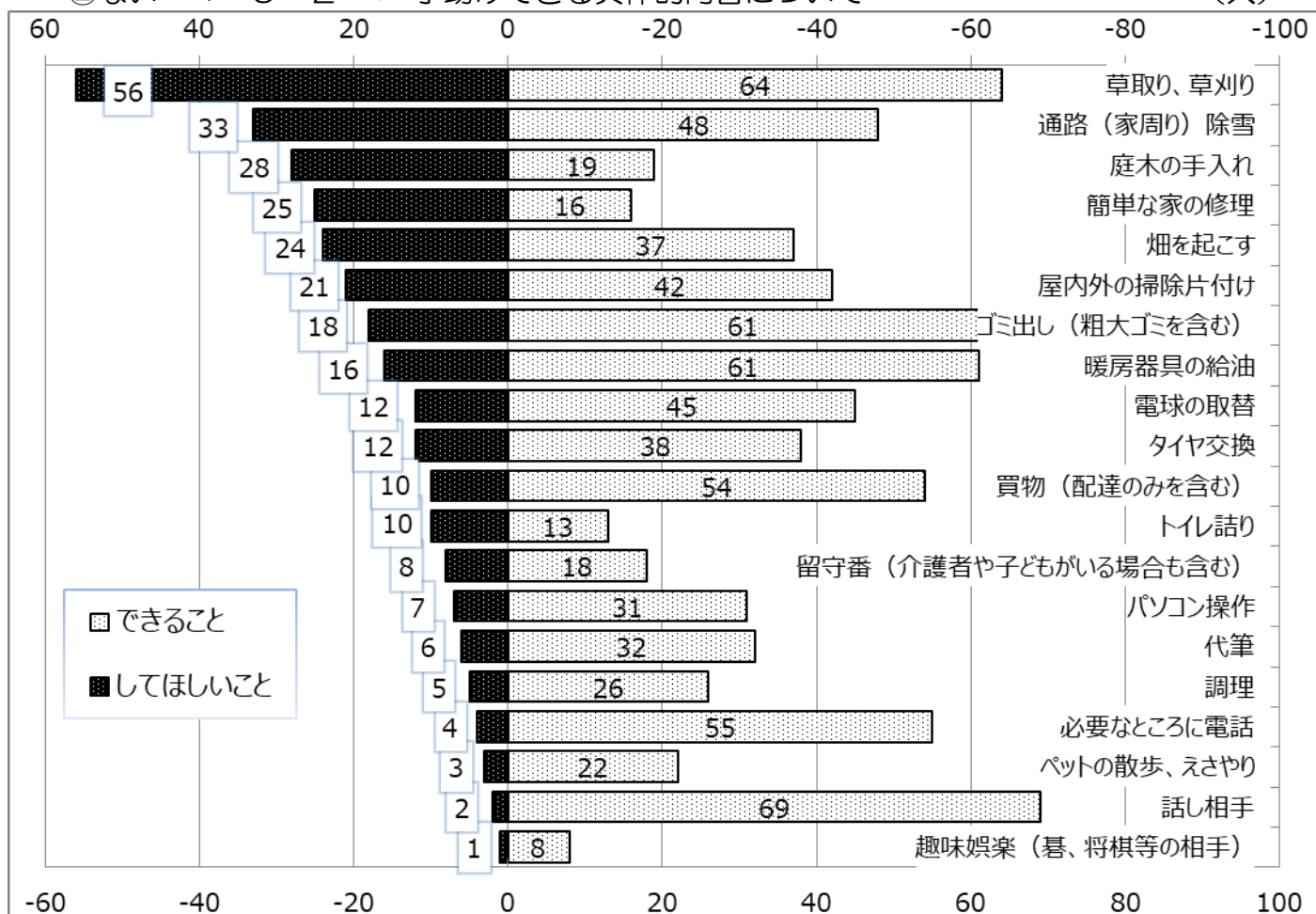


5. 日常生活の中で手助けしてほしいことがありますか。

①ある ⇒ 5-1 へ: 手助けしてほしいことは具体的内容について

②ない ⇒ 5-2 へ: 手助けできる具体的内容について

(人)



5-2. 依頼があれば協力できますか。

①できる ⇒ 91人

②できない ⇒ 182人

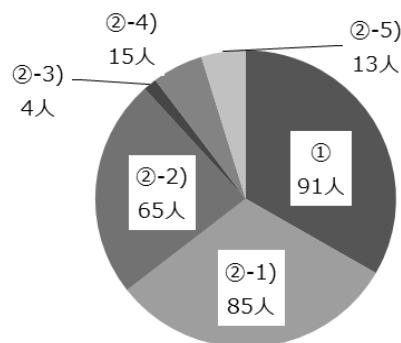
1) 自分のことで精一杯: 85人

2) 協力したいが、時間に余裕がない: 65人

3) 協力できる内容がない: 4人

4) 手助けする自信がない: 15人

5) その他: 13人



～みんなの和田暮らし支え合い事業 アンケート調査結果について～

自由意見欄まとめ

- ・ 農作業のない時期ならいいのですが…
- ・ 常住生活者でない為、参考にならないと思いますが、とりあえず提出させていただきます。
- ・ とてもご親切にありがとうございました。とても心強く思っています。うれしく思っています。細かい事もお願いできるのでしょうか？その時にはよろしくお願い致します。
- ・ お互いに協力し合って、地域の絆を大切にしていきたいと願っている。
- ・ 身の回りの世話を家族にしてもらっているので、他人のことまでできる状況ではない。
- ・ 除雪。なるべく早くしてほしい(山道)
- ・ 冬雪。除雪なるべく早くしてほしい。(山道)
- ・ 現在は、自分で何でも出来ます。もう4～5年するとできません。たくさんの人中に出ると夜が眠れなくなります。大変すみません、近所の様子を見に行ける位です。
- ・ サロン等もっと交流のできる会合を、週に1回程度は開催するよう計画が高齢化社会にはますます必要となる。また、市議会においても、学校教育の無料等の話題ばかりで地域の活性や高齢者の対策については置き去りにされているように思う。もっと町全体の協議会で追及をお願いしたい。
- ・ 人とのつながりがなく昔は良かった。人と人が良く話し合い助け合っていたが、今は田舎も都会みたい知らないふりが多くなったと思われ淋しいです。私たちが小さい時代は、両親から兄弟よりもとなりを大事にするように教えてもらっていました。今頃は、全然知らぬ顔です。時代が変わったのね。
- ・ この様にお互いに助け合っていけるような町づくりはとても素敵な事だと思います。自分が出来る事があればさせて頂きたいと思います。
(ただし自分も仕事があるので、空いている時間であれば可能です。)
- ・ 若い人を大切にしてください。今の若い人が高齢になった時の事を考えてほしい。
- ・ 隣近所に頼まれたら、5-2の内容についてはお手伝いします。
- ・ 手助け出来るのもあと10年？その後は手助けをお願いしたい。
- ・ 身体が小さいので出来る事があれば出来るだけ協力したいと思います。
- ・ 高齢のため出来ません。
- ・ 勤めているので時間に余裕がありません。
- ・ 自分の状況が合えば出来る事はあると思います。
- ・ やはり家が一番ですので、時間に余裕がある時になります。次がお仕事でいつ？と決めてあるとお手伝いしやすいと思っています。
- ・ 依頼に対し、不信感を持たれたら困るから、その点は充分に依頼主に伝え了承して欲しい。

- 出来る範囲で手助けは可能だが、家族に有事の際はできないので、継続的なことより、単発的なことか、継続者の補助的なことなら良い。
- 地域の人口が少なくなり、お互い助け合って日々楽しく暮らしています。
- 自分の生活で精一杯なときもありますが、時間に余裕があるときは、お手伝いや協力をしていきたいと思います。なるべく人にめいわくをかけない様自分で出来る事は自分でやる様努力したい。
- 自分を守ることで精いっぱい。皆様にめいわくかけない様頑張りたい。
- 小中学生が少なくなり、一緒に登下校できる人数も減っている中で、やはり大人の見守りが必要だと思います。有償であっても、小中学生の安心安全を守ることは必要であると思います。小中学生も存在していることを忘れないでほしいです。
- 毎日人が来られ話し相手をしている。
- 急速に身体状況が変化しており、自信がないことが多い。
- 忙しすぎて体がついていけない。
- 項目の中に、ペットの散歩・えさやり等はさけて下さい。手助けを受けないようにペット等はかわないでほしい。
- 老人2人お世話になっていますが、今の所お陰様でどうにか生活していますが、これから先お世話をかけるとは思いますがお願いいたします。
- 雨漏り等の簡単な修理ができない。年齢が進むにつれ、だんだん難しくなるでしょう？
- 介護保険制度の細かい所の充実をよろしくお願いします。
- 仕事をしているので、時間的に難しい面やどのようなことができるのかははっきりわからないことはありますが、無理のない程度なら、できる事もあるかもしれません。
- 要望の取次、派遣の調整は、どこがやるのでしょうか？社協との重複はどうするのですか。
- 他人の家入るので問題がおきた時がいや！
- 消火器の点検をひとり暮らしのお家に必要ではないかと思ひます。重いので男の方がよいかと。(2人位で)
- その時、その日、身体調子でないと返事できない。自分なりに動いている。また、近所の方とは、なるべく話や声掛けはしているつもりです。
- 早期の組織化を期待しています
- 自治体に協力する気持ちはあるが、仕事上、都合が取れないことが多い。
- 若い世代の働き場所の確保と子供を育てられる賃金体制の確保により、子供は自然に増加する。又、子供を増やす施策も必要である。
- 食事の支度はできません。畑仕事だけです。
- 独居老人にもたらひ回しの役目が廻ってくる、人の頻度の思ひはそれぞれで、痛みがはかれなく口先を言われ、非常に心の重荷となり土地を去りたく思ひほど追ひ詰められる。

ご協力ありがとうございました。



小学校ご入学

4月10日浜田市内の小学校では、平成30年度入学式が行われ、和田地区からは2名が入学されました。ご入学おめでとうございます♪ピッカピカのランドセルを背負って、毎日元気いっぱい楽しい小学校生活を送ってください！

春の交通安全運動

4月6日～15日の春の交通安全運動に、本郷のつくし会の皆さんも参加されました。本郷の交差点を通行される運転手の方々へ、安全運転を呼びかけられ、1つ1つ願いをこめて手作りされたマスコットを配布されました。



各地区一斉清掃

4月15日(日)各地区で一斉清掃(缶拾い)が行われました。あいにくのお天気ではありましたが多くの方々の参加があり、各地区とても綺麗になりました。みなさん大変お疲れ様でした！



お花見



※今年は残念ながら桜の花を見られませんでしたでしたが、代わりに桃の花を見ながらの花見となりました。子供達の参加も交えて久しぶりに講組での親睦会となりました。 和田町 塚崎育生
※残念ながら桜の満開は少し過ぎましたが、久しぶりに集落の皆さんと顔を合わせ楽しいひと時を過ごしました。
大石谷 岡本 博



和田町組花見会の皆さん



大石谷の皆さん

鮎の放流



4月初旬から八戸川漁協の皆さんで鮎の放流をされています。トラック荷台から長いホースを川まで伸ばし、その中を鮎が流れていき川へ泳ぎだします。今年も6月10日には、鮎釣り解禁となります。



フォトコンテスト

和田地区フォトコンテスト冬の部にご応募下さった皆様ありがとうございました。厳正な選考の結果、早田末男さんの“重富田園 久しぶりの雪景色”が最優秀賞に選ばれました。賞品として重富のお餅が贈られます。

引続き春の部(6月末締切)で皆様のご応募お待ちしております。



私達がやっています！

私たちは、百歳まで元気で長生きを目指しているグループ“さくら会”です。男性2人・女性4人の6人で楽しくやっています。桜の花にあやかるように、希望を込めて皆で頑張っています。毎週月曜日、夜7時30分より和田公民館で一緒にパタカラパタカラやりませんか！！ さくら会 岡本嗣喜



事務局よりお知らせ



～みんなの和田暮らし支え合い事業 アンケート集計結果について～

みんなの和田暮らし支え合い事業(5ヵ年)として地区住民がお互いに助け合い元気で安心して暮らせることを目指し、有償を含めた“支え合い活動の仕組みづくり”を検討する為に、昨年度アンケートを行い様々なご意見を頂きました。その集計結果をはさんでおりますのでご覧ください。これを活かして今年度の事業活動を行ってまいります。

編集後記

新年度が始まりました。和田地区まちづくり推進委員会も4月22日に開かれます総会から、新たな委員さんと共に協力し合い、平成30年度の活動を盛り上げていけたらと思います。活動計画方針及び活動計画・収支予算につきましては、次号のピーチに掲載いたしますので、またご覧ください。地域の皆様、各種団体の皆様がピーチに掲載したいものが有りましたら、事務局に情報提供を頂ければ幸いです。